

2010 MOTEGI
Champion Cup Race
Round 1

2010.3.7
Takuya Fujimoto

Racing Report



私、藤本拓也は、この度もてぎチャンピオンカップレース開幕戦 S-FJ クラスに参戦いたしました。開幕戦は 19 台のエントリーでした。

結果

フリー走行・・・2 番手

予選・・・5 番手

決勝・・・5 位入賞

開幕戦は、朝から雨でした。この日初めて YOKOHAMA ADVAN のレインタイヤを履き、フリー走行では新品タイヤのグリップ感を確かめながらの走行でした。DUNLOP タイヤから ADVAN タイヤに変わり、グリップ力が上がっていたため、すぐにタイムを上げることができ、2 番手のタイム (2' 20" 2) で終了しました。

予選は 20 分間のタイムトライアルでした。インターバルの間に雨が強くなり、フリー走行の時より路面状況が悪くなっていました。そのため最初の 10 分間は路面状況の確認をし、ラスト 10 分間でペースを上げていきました。どんどんタイムが上がっていき 2 番手 (2' 20" 9) まで上がったのですが、ラスト一周で 3 台に抜かれ 5 番グリッドになりました。私も、ラスト一周にまとめようと調整していたのですが、スピンなどで時間がなくなってしまう、ラストアタックに入ろうとした周回にチェッカーフラッグを振られてしまい、自分のベストを出せずに終了してしまいました。



決勝は 5 番グリッドからのスタートでした。初めてのスタンディングスタートで、ホイールスピンさせてしまい、スタートで 2 台に抜かれてしまいました。3 番グリッドのマシンがエンストしていたため 1 コーナーは 6 番手で立ち上がりました。3 コーナーまで乱戦状態だったため、それに乗じて 3 コーナーで仕掛けました。インにノーズをねじ込んだのですが、そのためにラバーの載ったドライのラインに乗ってしまいスピンしてしまいました。オープニングラップで

最下位までおちてしまいました。しかし、すぐに気持ちを切り替え、いかにこのレインコンディションで抜くか考え、そのことに集中しました。ラインを他のマシンとは違う立ち上がり重視のラインに変え、バックストレートで抜けるようにいろいろためしました。ボトムスピードを犠牲にしても立ち上がり重視のラインに変えたことによって、バックストレートでは簡単に横に並べることができました。

レース後半になると、タイヤがたれて6番手のドライバーを振り切ることが



できませんでした。フリー走行の時点で新品タイヤを使ったことによって他のドライバーより早くタイヤがたれてしまいました。

レース中は抜くことのみ集中していたため何台抜いたのかも、自分が何位にいるのかも分からない状態でフィニッシュしました。結果は、自分のスターティンググリッドの5番手まで追いついていました。

今回は、自分の集中力の無さが原因でスピンなどをしてしまったので、次のレースまでにもっとメンタル面を鍛えること、また予選などの限られた時間の中で自分のベストを出し切ることが課題になりました。

走行面に関しては、まだまだ改善すべき点はたくさんあります。次のレースまでにもっとたくさん練習してマシンのことをもっと知っておくことが走行面での課題です。

結果は残念でしたが、次につながるレースができました。次のレースまでに課題を克服して、次こそは表彰台の頂点に立ちます。

